

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	35	介護保険	事業コード	37149	
事業名	高齢者あんしんコール費						
評価担当課	所属名	保) 高齢保健福 高齢福祉課					
	課長名	石崎 憲史	担当者名	甲斐 久織	電話番号	011-211-2976	
施策名	主	-					
	副						
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	健康相談・緊急通報対応・お元気コールにより、見守り等の支援を必要とする在宅のひとり暮らし高齢者等の日常生活上の不安の解消と安心の確保を図る。				
		長期	見守り等の支援を必要とする在宅のひとり暮らし高齢者等が、住み慣れた地域で安全かつ安心して日常生活を送ることができるよう、日常生活上の不安の解消と安心の確保を図り、高齢者福祉の増進に資することを目的とする。				
	取組内容	ボタン1つで医療等の専門的な知識を有するオペレーターに繋がる通報機器を自宅に設置し、24時間365日体制で健康に関する相談や家庭内での事故等による緊急通報に対し適切な対応を行うとともに、定期的な電話掛け(お元気コール)により利用者の現況把握を行い、必要に応じて各関係機関への情報提供・連携をすることで、ひとり暮らしの高齢者等が安心して自立した生活を送ることができるよう支援する。					
	実施結果	令和3年度末利用者数:2,759人 緊急通報:546件、相談通報:5,585件					
事業実施における工夫点	高齢者の身近な存在である民生委員や地域包括支援センター等に対する事業リーフレットの配布・情報提供により、広く市民への事業周知に努めた。						
対象者	札幌市在住で在宅のひとり暮らし高齢者等			開始	平成25年度	終了	0年度
関連法令・条令・要綱等	札幌市介護保険事業施行規則、地域支援事業実施要綱 札幌市高齢者・身体障がい者あんしんコール事業実施要綱						
他都市の状況	道内の他市町村や政令指定都市、中核市でも同様の事業を実施している。						

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	63,278	63,584	65,257	72,416	
うち特定財源	63,278	63,584	65,257	72,416	
人工	0.3	0.3	0.3	0.3	
人件費	2,160	2,160	2,160	2,160	
計(事業費+人件費)	65,438	65,744	67,417	74,576	
事業費の内訳	令和3年度決算	受信センター運営等委託料:65,257千円			
	令和4年度予算	リーフレット作成費(需用費):137千円 受信センター運営等委託料:72,279千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	利用者数(延べ件数)		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	31,745	32,570	33,150	34,045
	指標名			
活動指標2	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	指標名	事業実施による効果を測定することが困難なため		
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
成果指標1				
	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
成果指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由		
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	年間延べ利用者数は年々増加しており、R2年:32,083人→R3年:33,150人となっている。当該事業を必要とするひとり暮らし高齢者等が一定数おり、日常生活上の不安の解消と安全の確保により、安心して在宅生活を送れるよう支援する一つの制度として機能している。		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	サービスの内容や対象者の範囲、1件当たりの委託料、利用者負担料は、他都市が実施している同様の事業と概ね同等で、妥当である。		
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	受信センター運營業務を委託することにより、24時間365日体制で健康相談や緊急通報等への対応が可能となっている。通報機器の設置も同事業者に委託しており、効率的な業務が行われている。		
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	利用件数は伸びており、ケアマネジャー等からも利用に関する相談・問い合わせが寄せられている。高齢者の日常生活上の不安を解消し、安心して在宅生活を送るために支援するサービスの一つとして、高齢者のニーズに応えている。		
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input checked="" type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	民間事業者等においても類似サービスが展開されているため、動向を注視しつつ、行政としての役割を見極めながら事業を実施する。			
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	利用件数は年々増加しており、高齢者が住み慣れた地域で安心して日常生活を送れるよう支援するサービスの一つとして有効である。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善    ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 民間事業者においても類似サービスが展開されているが、初期費用が発生するなど利用料は高額であるため、比較的安価で利用できる当該事業は、低所得層など経済的弱者をこのようなサービスから取り残さないよう、引き続き継続する必要がある。		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 延べ利用件数は年々増加しているため、予算額は増加見込み。		見直し効果額 0 千円